

日本陸上競技連盟からのお知らせ

目 次

■活動報告

日本陸上競技連盟・中長期計画『JAAF REFORM』～新たなステージへの挑戦～を発表

東京2020オリンピック・パラリンピックが終了し、今後の陸上界の更なる発展や価値向上を目指すため、本連盟が新たなステージで挑戦をしていく思いを込めた日本陸上競技連盟・中長期計画『JAAF REFORM』を発表しました。

第28回JAAFコーチングクリニックレポート

第28回JAAFコーチングクリニックは、昨今の社会状況を鑑みて、2020年度に続いてWEB会議システム(Zoom)を使用するリモート形式での開催となりました。「新たなコーチングへの試み」をテーマに掲げ、2022年2月26日(土)13:00～16:30にて3部構成として、それぞれの分野で活躍されている講師を招いて行いました。

■大会観戦ガイド

第24回長野マラソン

第106回日本陸上競技選手権大会・10000m 兼 オレゴン2022世界陸上競技選手権大会
日本代表選手選考競技会

セイコーゴールデングランプリ陸上2022東京 WORLD ATHLETICS CONTINENTAL TOUR ～GOLD～

第106回日本陸上競技選手権大会・混成競技 第38回U20日本陸上競技選手権大会・混成競技 兼 オレゴン2022世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会 兼 カリ2022 U20世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会

■事務局からのお知らせ

【日本グランプリシリーズ2022】頂点をかけた熱戦が4月9日(土)開幕!～2022シリーズ要項・ポイント対象種目公開～

【日本グランプリシリーズ】2022シーズンのキービジュアル公開!～「挑越、超人スタジアム」限界を超え、未来を切り拓く～

将来を見据えた取り組み、パリオリンピックを目指した強化策を進めながら、適切な組織運営も目指す—第74回理事会報告

マラソン編【オレゴン世界選手権への道】日本代表争い最新情報

【第4回ライフスキルトレーニング レポート&受講生コメント】～重要な時に力を発揮する「獲得型思考」～

information

- ・日本陸連登録料の設定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/fee/>



- ・シューズ規則/広告規定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>



- ・陸上競技場、長距離競走路の認定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/shisetsu/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2022年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15231/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2023年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15943/>



- ・アンチドーピング/鉄剤注射の防止

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>



- ・【オレゴン世界選手権】エントリースタンダード

https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202108/17_171714.pdf



日本陸上競技連盟・中長期計画『JAAF REFORM』 ～新たなステージへの挑戦～を発表

< JAAF REFORMのコンセプト>

東京2020オリンピック・パラリンピックが終了し、今後の陸上界の更なる発展や価値向上を目指すため、本連盟が新たなステージで挑戦をしていく思いを込めた日本陸上競技連盟・中長期計画『JAAF REFORM』を発表しました。

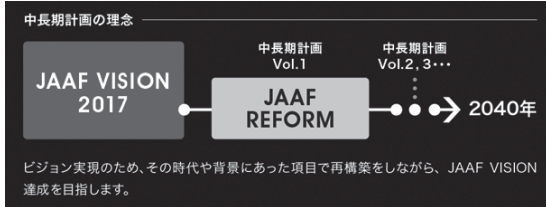
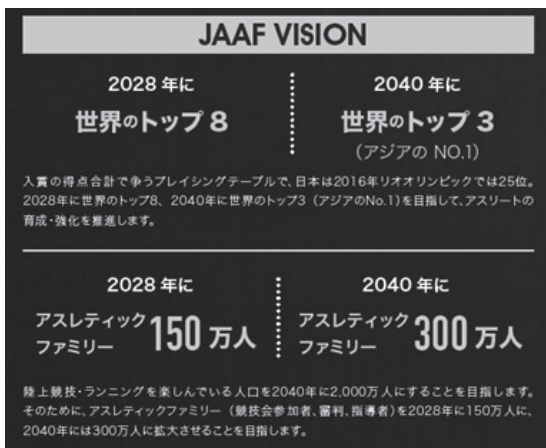
2017年に発表した「JAAF VISION 2017」で掲げた「国

際競技力の向上」と「ウェルネス陸上の実現」という2つのミッションをベースに、より具体的なアクションプランを『JAAF REFORM』に掲げています。

『JAAF REFORM』のコンセプトは『未来に輝く人材育成と、感動体験の提供を目指して』としています。競技力の向上のみならず、陸上を通じて社会で幅広く貢献できる人材を輩出すること、そして世の中の多くの人に感動体験を提供することにより、陸上の社会的な価値の向上も目指します。

また、今後の更なる陸上界の発展に向けて、競技志向の観点だけでなく、皆さんにもっと身近で幅広い「陸上」に親んでもらうことを理想としています。

皆さんと『JAAF REFORM』を共有し、実現したい未来に向かって、前向きにやりがいを感じながら、「陸上」に関わり続けたいと思ってもらえるような環境づくりと、日本の陸上界としてのあるべき姿を達成していきたいと考えています。

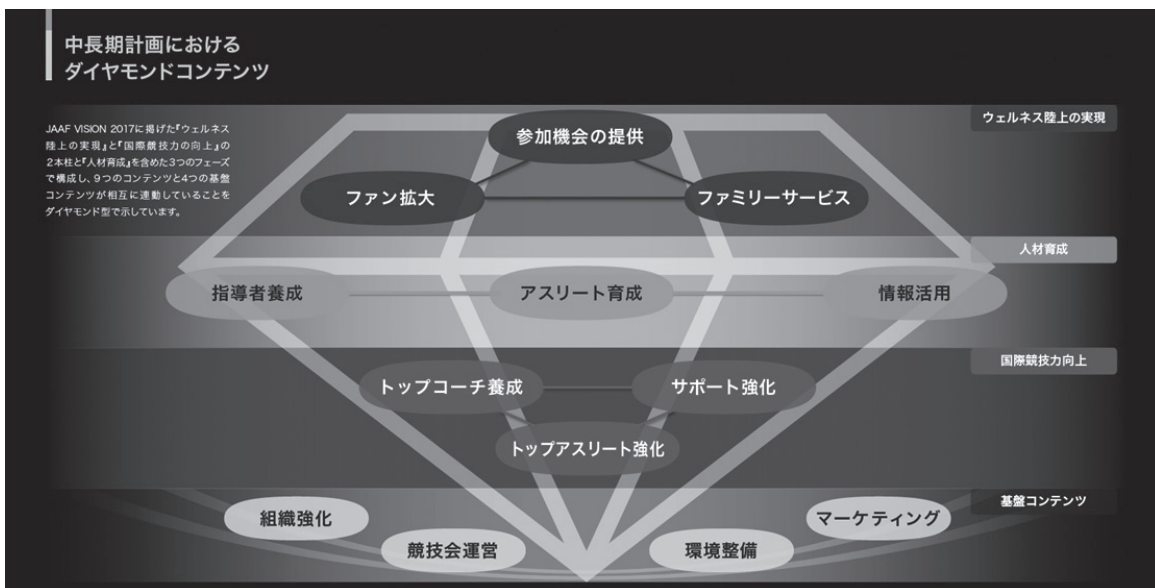


< TOKYO2020を継承して>

東京2020大会が終了し、大会ビジョンとして掲げられていた「ダイバーシティ&インクルージョン」を陸上界でもレガシーとして継承すると共に、多様な人々、ジェンダー平等、異なる価値観や能力から新たなイノベーションを生み出し、価値創造に繋げていきます。

また、東京2020大会を迎えるまでの道のりや、大会の結果を踏まえ、成功や継続すべき点、悔しい思いをした部分の改善事項などを振り返り、今後新たに突き進む糧として、人も

<新たなステージで挑戦するダイヤモンドコンテンツ>



組織も大きく成長できる機会と捉えながら、新たなステージで挑戦をしていきます。

このダイヤモンドコンテンツは、本中長期計画で取り組むアクションを13項目に整理し、各項目それぞれに相互関係があり、連動していることを示しています。また、この13項目は「ウェルネス陸上の実現」「人材育成」「国際競技力の向上」「基盤コンテンツ」の4つのカテゴリーに分類しています。

1番目のカテゴリーは「ウェルネス陸上の実現」に関わるもので、「参加機会の提供」「ファン拡大」「ファミリーサービス」の3項目があります。陸上に参加する人、応援してくれる人を増やすと共に、「する・みる・ささえる」様々な立場で陸上に携わってくださるアスレティックファミリーに対するサービスを充実させるための取り組みを記しています。

次のカテゴリーは「人材育成」に関わるもので、「アスリート育成」「指導者養成」「情報活用」の3項目が含まれます。競技力向上だけでなく、自ら意欲を持って、長く陸上に取り組み、陸上の経験を通じて得たことを生かして、社会でも活躍できるアスリートの育成や、アスリートの意思や育成過程を尊重し、長期的な視点で、意欲や能力を引き出せる指導者の養成を、より一層推進します。

3番目のカテゴリーは「国際競技力の向上」に関わるもので、「トップアスリート強化」「トップコーチ養成」「サポート強化」の3項目で構成しています。世界の舞台で活躍するアスリートを育成することは、これまでと変わらず取り組んでいきますが、さらに幅広い知識や高度な指導力を持つコーチの養成、医科学や情報分析などの面から、トップアスリートの強化を支えるサポート態勢の充実も進めていきます。

さらにこれらの取り組みを支える基盤として、「組織強化」「競技会運営」「環境整備」「マーケティング」の4項目を位置づけています。

<身近なことから始めるSDGs>

国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットの中から「陸上」の力を活用し、目標達成に向けて貢献していきます。

本中長期計画では各コンテンツ別に、17のゴールのうち当てはまる目標を示しています。

大きく難しく考えずに、アスレティックファミリーの皆さんが「陸上」に関わりながら、身近に出来ることから行動できる環境や意識づけをしていきたいと考えています。

<アスレティックファミリー拡大に向けて>

「JAAF VISION 2017」でも掲げているアスレティックファミリー拡大を目指すため、新たな会員登録システムの構築や、より気軽に「陸上」に触れることができる体制を整えます。

また、「する人」が「みる人」に、「する人」が「支える人」に、「みる人」が「支える人」等にもなるような相互関係が

高まるよう、「陸上」の魅力幅広く提供していきます。

更に、様々な立場の人と「陸上をつくる」ことや「陸上でつながる」ことなど、柔軟な視点で、「陸上」の価値が高められるような環境づくりもしていきます。

<各団体との連携強化>

本中長期計画をより浸透させて達成を目指すためにも、加盟団体・協力団体・関連団体の皆様にご協力を得られるよう協働していくと共に、同じ方向を目指して地域や団体の状況や実情に合わせ、柔軟に対応しながら、連携を深めていきます。

また、新しいアイデアや知見を取り入れながら、『JAAF REFORM』を推進するために、国際団体や上部団体・他競技団体などと積極的に交流や情報交換をしていきます。

さらに、関連団体とのコミュニケーションを強化していくために、ネット会議等を利用した情報提供や各団体からの提案・報告等を通じ、相互理解・情報アップデートを定期的実施しながら、ビジョン達成を目指します。

<対談企画 新たなステージでのあるべき姿>

日本の陸上界が今後、どのように進んでいくべきか、2015年世界選手権銅メダリストの為末大さん、女子100mハードル日本記録保持者の寺田明日香さん、本連盟尾縣貢会長の3人にお話を伺い、ディスカッションを実施しています。詳細はPDF冊子データ及び動画にてご確認ください。



『JAAF REFORM』各種情報

- ◆ 『JAAF REFORM』資料データ (PDF: 62MB)



- ◆ 『JAAF REFORM』特設サイト



- ◆ 『JAAF REFORM』対談企画動画 (YouTube)



第28回JAAFコーチングクリニックレポート

指導者養成委員会 泉水 朝宏

第28回JAAFコーチングクリニックは、昨今の社会状況を鑑みて、2020年度に続いてWEB会議システム（Zoom）を使用してのリモート形式での開催となった。「新たなコーチングへの試み」をテーマに掲げ、2022年2月26日（土）13：00～16：30にて3部構成として、それぞれの分野で活躍されている講師を招いた。

はじめに山本浩指導者養成委員長より、北京冬季五輪でメダル量産したノルウェーでのコーチ養成の取り組みなどが紹介され、「指導者と選手は横並びである」という指導の原点を見直すきっかけとなる言葉が印象的であった。

第1セッションでは「口腔科学的視点からパフォーマンスを考える」として、田邊元（たなべげん）氏（東京医科歯科大学医歯学総合研究科スポーツ医歯学分野 委員）に担当していただいた。近年、注目を集めるスポーツ歯科を歯科医師の観点から講義していただいた。陸上競技だけでなくスポーツのパフォーマンスを左右する多くの事例やご自身の研究をもとにした講義が行われた。後半には山本氏のコーディネートにより、質疑応答による対談形式の講義が行われた。最後には頭骨模型を使った「歯の磨き方」を紹介していただき、口腔内をよい状態に保つことの大切さを改めて実感する内容であった。

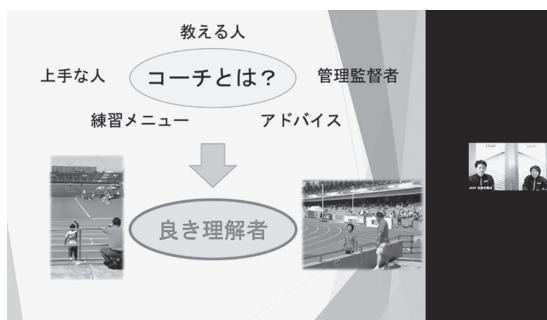
第2セッションでは「もしもコーチとして自分が、選手の自分を指導できるとしたら」として指導者養成委員でもある海老原有希氏（スズキアスリートクラブ）に担当していただいた（コーディネーターは、筆者）。現役引退後、コーチとして指導を始めて得た知識と経験をもとにして、過去に戻れるとしたらどの年代の自分（海老原有希選手）を指導したいかを中心に講義していただいた。後半には、コーチの視点として「選手と指導者が大切したいポイントを共有するコミュニケーションが必要」を大事にしたいという、コーチの原点を再確認させられる内容であった。

第3セッションでは「コーチングで大切にしていること」として、高野大樹氏（慶應義塾大学競走部コーチ）に担当していただいた（コーディネーターは、指導者養成委員会ディレクターの桜井智野風氏）。パラアスリートとの出会いから始まったコーチ生活や現在のプロコーチとしての活動を中心に、普段からコーチングの際に意識されていることを講義していただいた。高野氏のコーチングの基礎となっているという「発生運動学」をもとにした内容は、受講者に多くの新しい気づきをもたらされた。「指導者は動画で見る100本より、生でみる1本の方が情報量が多い」という言葉は非常に重みがあり、選手をよく観察し、選手との時間を大切にすることを改めて気づかされる内容となった。



本クリニックの担当講師（左から山本氏、田邊氏、高野氏、海老原氏）

2022年1月より継続されているまん延防止等重点措置により、今年度のコーチングクリニックもリモート形式での開催となった。本講習会の受講者は、104名（男性87名、女性17名）であり、JAAF公認コーチ、JAAF公認ジュニアコーチの有資格者は99%であった。今後の社会状況次第ではあるが、対面形式の生で見て感じるという講習会の良さと、リモート形式の手軽さを見極めながら講習会の開催を検討していきたい。



講習会風景①スライドを用いた講義（海老原氏）



講習会風景②（左から桜井氏、高野氏）

大会観戦ガイド

第24回長野マラソン

- ▼期日：2022年4月17日（日）
- ▼コース：長野マラソン長距離競走路（日本陸連公認・AIMS公認）スタート：長野運動公園（長野市吉田）フィニッシュ：長野オリンピックスタジアム（長野市篠ノ井東福寺）
- ▼種目・スタート時刻：
マラソン（42.195km） 午前8時20分スタート
- ▼問合せ先：長野マラソン大会組織委員会事務局
TEL：026-217-2490 平日9：30～17：00
※土日・祝日 12/29～1/4を除く
- ▼大会ページ：
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1636/>

第106回日本陸上競技選手権大会・10000m 兼 オレゴン2022世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会

- ▼期日：2022年5月7日（土）
- ▼場所：国立競技場（東京都新宿区霞ヶ丘町10-1）
- ▼種目：男子10000m／女子10000m
- ▼問合せ先：【日本陸上競技連盟・事務局】
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階
TEL：050-1746-8410（土・日祝日を除く10：00～18：00）
- ▼大会ページ：
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1643/>



写真：フォート・キシモト

セイコーゴールデンランプリ陸上2022東京 WORLD ATHLETICS CONTINENTAL TOUR ～GOLD～

- ▼期日：2022年5月8日（日）
- ▼場所：東京・国立競技場（東京都新宿区霞ヶ丘町10-1）
- ▼種目：
【男子】9種目
100m、400m、800m、110mH、400mH、
3000m障害物、走高跳、走幅跳、やり投
- 【女子】5種目
200m、1500m、100mH、走幅跳、やり投

- ▼問合せ先：【日本陸上競技連盟・事務局】
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階
TEL：050-1746-8410（土・日祝日を除く10：00～18：00）
- ▼大会ページ：
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1644/>



写真：フォート・キシモト

第106回日本陸上競技選手権大会・混成競技 第38回U20日本陸上競技選手権大会・混成競技 兼 オレゴン2022世界陸上競技選手権大会日本 代表選手選考競技会 兼 カリ2022 U20世界陸上 競技選手権大会日本代表選手選考競技会

- ▼期日：2022年6月4日（土）・5日（日）
- ▼会場：秋田県営陸上競技場（秋田県立中央公園内）
- ▼種目：【日本選手権】男子十種競技／女子七種競技
【U20日本選手権】男子十種競技／女子七種競技
- ▼問合せ先：
【競技運営本部（欠場届等 競技運営に関する問い合わせ窓口）】
〒010-0974 秋田県秋田市八橋運動公園 1-5
秋田県スポーツ科学センター内（一財）秋田陸上競技協会
TEL：018-838-7416 FAX：018-829-3732
E-mail：jaaf-akita@sky.plala.or.jp
- 【日本陸上競技連盟・事務局】
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階
TEL：050-1746-8410（土・日祝日を除く10：00～18：00）
- ▼大会ページ：
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1651/>



写真：フォート・キシモト

事務局からのお知らせ

◆◆【日本グランプリシリーズ2022】頂点をかけた熱戦が4月9日(土)開幕!
～2022シリーズ要項・ポイント対象種目公開～◆◆

2022年「日本グランプリシリーズ」が、4月9日(土)開幕!この度2022シーズンのシリーズ要項、並びにポイント対象種目配置が確定しましたのでお知らせいたします。

▼詳細はこちら <https://www.jaaf.or.jp/gp-series/news/article/15879/>

▼特設サイトはこちら <https://www.jaaf.or.jp/gp-series/>



◆◆【日本グランプリシリーズ】2022シーズンのキービジュアル公開!
～「挑越、超人スタジアム」限界を超え、未来を切り拓く～◆◆

この度、今シーズンのキービジュアルが完成しましたのでお知らせいたします。

テーマは「挑越、超人スタジアム」

「挑越」とは「超越」と「挑戦」を融合した言葉です。

▼詳細はこちら <https://www.jaaf.or.jp/gp-series/news/article/15900/>



◆◆将来を見据えた取り組み、パリオリンピックを目指した強化策を進めながら、適切な組織運営も目指す——第74回理事会報告◆◆

日本陸上競技連盟は3月14日、第74回理事会をオンラインにより開催しました。2022年度の事業計画・収支予算、主要競技会日程、ブダペスト2023世界陸上競技選手権の内定条件などについて協議しました。承認された主な事項をご紹介します。

▼詳細はこちら <https://www.jaaf.or.jp/news/article/15932/>

◆◆マラソン編【オレゴン世界選手権への道】日本代表争い最新情報◆◆

2022年7月15日(金)～7月24日(日)にアメリカで開催される、オレゴン2022世界陸上競技選手権大会のマラソン日本代表争いについて最新情報をお届けいたします。

▼マラソン日本代表選手選考要項はこちら https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202107/02_105245.pdf

◆◆【第4回ライフスキルトレーニング レポート&受講生コメント】

～重要な時に力を発揮する「獲得型思考」～◆◆

日本陸連が、大学生アスリートを対象に、株式会社東京海上日動キャリアサービスの支援を得て展開している「ライフスキルトレーニングプログラム」。昨年12月からスタートした第2期も、ここまで順調にプログラムを進めてきました。3月5日には、全体講義としては最終回となる4回目の講義が行われ、第2期生10名が参加しました。

▼詳細はこちら <https://www.jaaf.or.jp/news/article/15940/>

▼特設サイトはこちら <https://www.jaaf.or.jp/lst/>

▼第2期生 <https://www.jaaf.or.jp/news/article/15632/>



陸連時報編集委員

◇編集委員

- 尾縣 貢 (陸連会長)
- 黄倉 寿雄 (陸連副会長)
- 瀬古 利彦 (陸連副会長)
- 有森 裕子 (陸連副会長)
- 風間 明 (陸連専務理事)
- 山崎 一彦 (陸連強化委員長)
- 鈴木 英穂 (陸連事務局長)
- 牧野 豊 (陸上競技マガジン編集長)

◇時報編集室責任者

- 石井 朗生
- ◇時報編集担当
- 日本陸連 広報課

陸連時報編集室

〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階
日本陸上競技連盟内
TEL : 050-1746-8410
FAX : 050-3588-1869